

各 位

平成 29 年 4 月 27 日

会社名 株式会社だいこう証券ビジネス
代表者名 代表取締役社長 御園生 悦夫
(コード：8692 東証第一部)
問合せ先 執行役員総合企画部長 大矢 光一
(電話番号 03-5665-3137)

新中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）策定に関するお知らせ

当社グループは、平成 29 年度から平成 31 年度までの 3 年間で「証券業の共同インフラ会社に向けた構造改革ステージ」と位置づけ、中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 前中期経営計画（平成 26 年度～平成 28 年度）の振り返り

当社グループは、平成 26 年度からスタートした前中期経営計画期間において、グループ内の組織再編やオフィスの移転・集約を行い、グループシナジーを発揮する体制を整えました。また、金融機関や事業会社へのマイナンバー関連サービスの提供や、地域金融機関が設立する証券子会社の運営を包括的に支援する「Dream-S&S」の展開に取り組んでまいりました。

2. 新中期経営計画の概要

<グループ経営ビジョン>※1

私たちは、高度な専門性を駆使した先見的トータルアウトソーシングサービスの提供により、価値共創を実現する企業グループを目指します。

<グループ事業ドメイン>

- 「証券業務のトータルソリューションの提供」を通じ、ビジネスサービスパートナー（BSP）※2として、証券マーケットの拡大発展に貢献します。
- 証券 BPO・ITO 業務での知見を活かし、今後成長する分野でのビジネス展開にチャレンジします。

※1 グループ経営ビジョンは変更いたしておりません

※2 ビジネスサービスパートナー：証券業務向け高品質事業インフラを提供し、証券業務を手がけるあらゆる事業体のパートナーとして証券サービスの高度化、効率化を下支えする役割。

<重要経営課題と施策>

(1) 品質向上

業務品質は当社グループの事業の根幹であることから、品質マネジメントのフレームワークを活用し、改善意識の定着を図ることにより、業務品質の維持向上を目指します。

(2) 効率化、システム化

各業務プロセスを総点検し、手作業による工程をシステム化することなどにより、業務効率の最大化を目指します。

(3) 業務拡大

グループ横断の営業体制を構築し、業界標準の事務サービスを提案・提供できる共同インフラ会社の地位確立を目指します。

(4) グループ連携

グループ一体運営を強化し、各社の強みを結集し、ワンストップサービスの実現を目指します。

上記に加え、当社グループの将来を見据えて、次世代金融 BPO サービスの創出に向けた取り組みを進めてまいります。

以 上